



# 岐阜県中津川市立 (新)福岡小学校の建設概要について

➤ 学校教育目標      ~ふるさとを愛する子~  
やさしく・かしこく・たくましく

➤ コンセプト          大屋根の下に多彩な活動が広がる学校

## シンプルな構成の学校

- シンプルなL字型の構成
- 敷地内の曙松林公園を最大限に保存
- 中学校と連続性のある大屋根の外観
- 学校の中心に各教科メディアが集まる「メディアの森」を形成

## 地域や中学校との交流の場になる学校

- 小学校・地域の中心となる多目的広場を計画
- 小中の職員室の近接配置、メディアセンター・家庭科室の小中共用等、小中連携型の運営に対応した計画
- 小学校と中学校のグラウンドを隣接させて配置
- 明確な地域開放ゾーンを形成

## 地域産材の木材を使用した木造の学校

- 周囲の風景に呼応する大屋根の外観
- 一般流通材を用いて地域産材の木材を積極的に活用
- 在来工法の木軸構造を基本としたグリッドの構成による内観計画
- 内装材や家具に木材を使用し、木のあたたかみのある内観計画
- 地域産材を活用した8本の丸柱を配置(多目的広場)

## ➤ 木材調達の状況

- 地域産材を可能な限り多く使うため木材を先行調達
  - 調達した木材 (980m<sup>3</sup>) の96%が岐阜県産材 (944m<sup>3</sup>)、65%が中津川産材 (642m<sup>3</sup>)
  - 集成材・製材 (682m<sup>3</sup>) の95%が岐阜県産材 (646m<sup>3</sup>)、94%が中津川産材 (642m<sup>3</sup>)
- ※集成材・製材 (682m<sup>3</sup>) は全量 (980m<sup>3</sup>) から合板 (298m<sup>3</sup>) を除いた量

樹種	使用量	内、 県産材	割合	内、 市産材	割合
ひのき	550m <sup>3</sup>	550m <sup>3</sup>	100%	550m <sup>3</sup>	100%
すぎ	96m <sup>3</sup>	96m <sup>3</sup>	100%	92m <sup>3</sup>	96%
べいまつ	36m <sup>3</sup>	0m <sup>3</sup>	0%	0m <sup>3</sup>	0%
合板	298m <sup>3</sup>	298m <sup>3</sup>	100%	0m <sup>3</sup>	0%
計	980m <sup>3</sup>	944m <sup>3</sup>	96%	642m <sup>3</sup>	65%



シンプルなL字型の構成



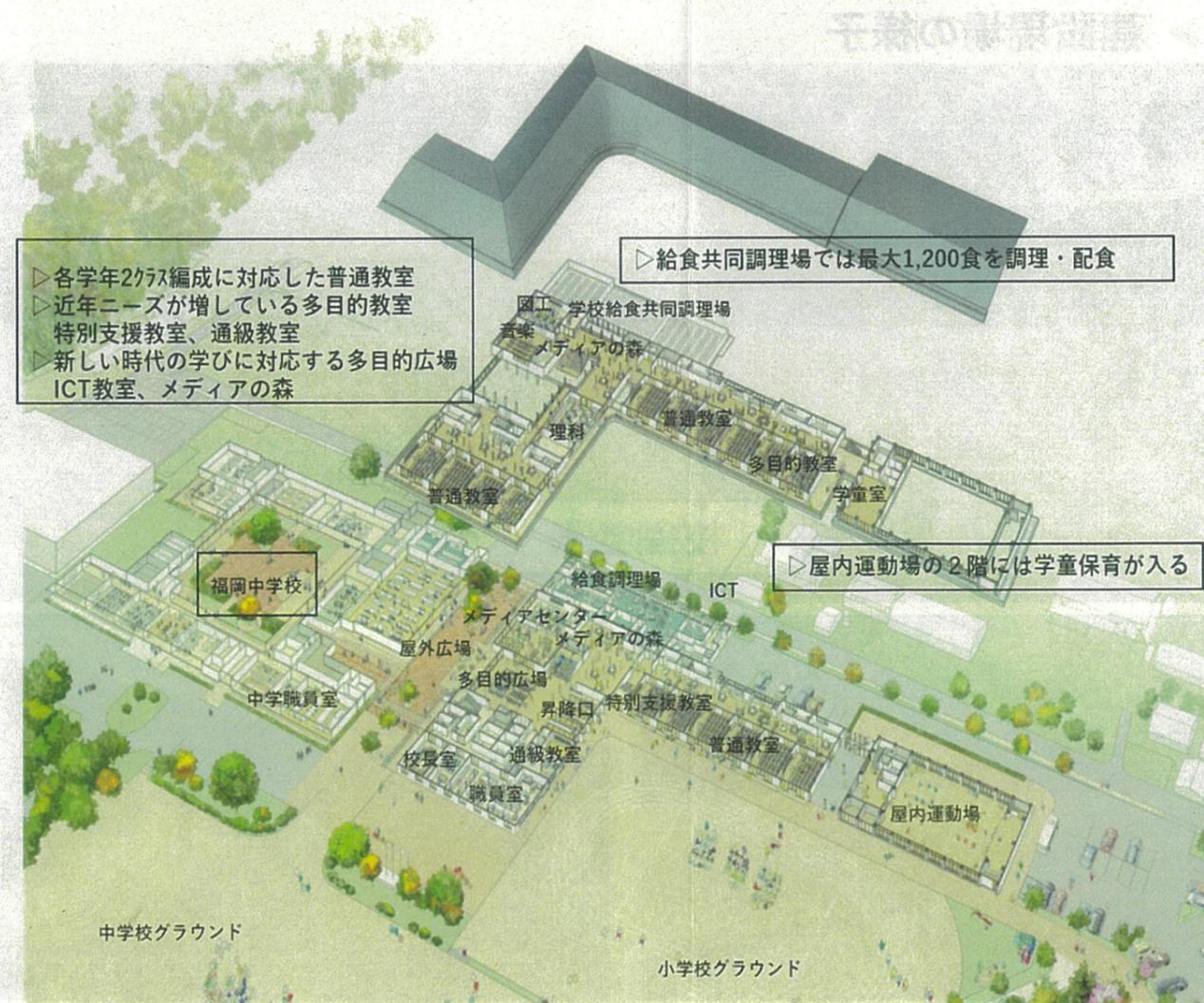
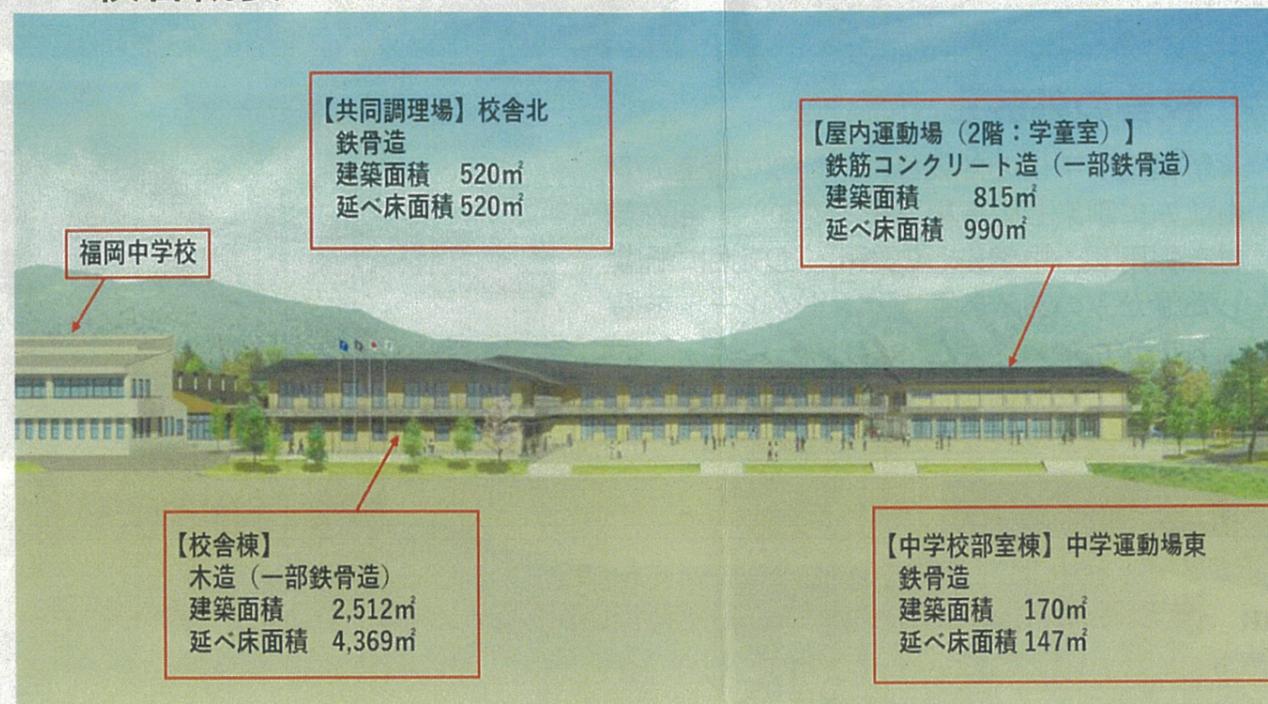
交流の場となる「多目的広場」



木のあたたかみのある内観



## ➤ 校舎概要



# (新)福岡小学校の建設状況について

## ➤ 校舎の外装色

新福岡小学校の外装色は、地域の緑豊かな山並みに馴染む大屋根（GINGRO）、自然素材を採用し、中学校との調和・連続性に配慮した温かみのある外壁（サンドグレー）を採用しました。

また、汚れや傷が目立たない素材を採用しています。

サッシ：ステンカラー



※完成イメージ

屋根：GINGRO

外壁：サンドグレー



※完成イメージ

## ➤ 建設現場の様子



校舎全景



## ➤ 建設現場の様子



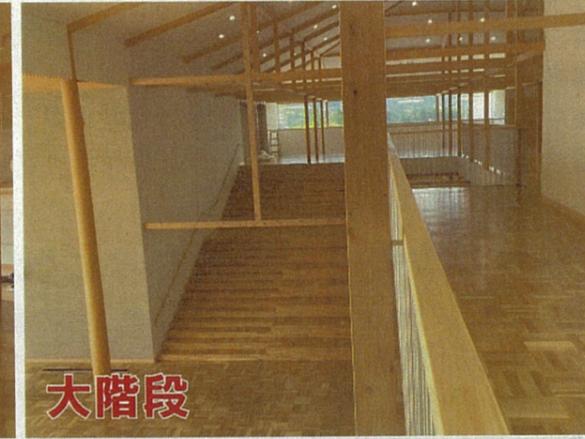
教室



多目的広場



メディアセンター



大階段



メディアの森（2階）



理科室



体育館



調理室

市のホームページでも工事の状況写真がご覧いただけます

—岐阜県中津川市教育委員会事務局 施設計画推進室—

